

阪急電鉄 高速道路に直結、「西山天王山駅」が開業

阪急電鉄京都線の新駅「西山天王山駅」が2013年12月21日、京都府長岡京市友岡に開業した。西山天王山駅は、阪急電鉄全線で2番目に駅間が長かった長岡天神―大山崎駅間に位置し、長岡天神駅から約1.5kmの地点にある。駅の上方で、高速道路の京都縦貫自動車道が交差する全国でも珍しい構造で、鉄道と高速道路が直結。駅前広場と高速バスのバスストップがエレベーターで結ばれている。

●高速道路と鉄道を組み合わせた公共交通への転換

西山天王山駅の開業に合わせ、京都縦貫自動車道には「高速長岡京バスストップ」が開設された。これまで個別に交通ネットワークを構築してきた鉄道と高速道路だが、西山天王山駅では電車と高速バスが直結。駅前広場のエレベーターを使って、2分で高速バスストップに行ける。電車と京都縦貫自動車道や名神高速道路、京滋バイパスを走行する高速バスとの乗り継ぎが容易にできるようになっている。

高速バスで神戸や大阪、京都の都心部に向かう場合、交通量の多い都心側で渋滞に遭う可能性が高くなるが、高速長岡京バスストップで下車して定時性の高い鉄道に乗り換えれば、渋滞による遅れを回避して都心部に向かうことができる。

マイカーなら長岡京インターチェンジで高速を下り、パーク・アンド・ライド駐車場にマイカーを駐車して鉄道に乗り継げば、目的地までの定時性を確保できる。駅前広場に整備されたパーク・アンド・ライド駐車場は約40台収容で、電気自動車用の急速充電器も設置されている。

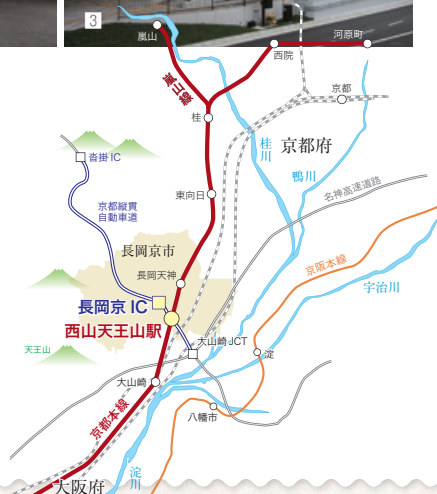
一方、駅前ロータリーからは、阪急バスと京阪バスが共同運行するJR長岡京駅と京阪淀駅を結ぶ新設のバス路線が発着している。これまで桂川で分断されていたエリアがバス路線でつながり、京阪電車への乗り換えについても利便性が向上した。

駅舎は、竹林や照葉樹林、田園風景が色濃く残る周辺地域との調和を考慮した「和モダン」がコンセプト。アースカラーを基調とした配色、木や土などをイメージさせる素材の活用が目を引く。駅舎正面は吹き抜けで、明るく開放感を感じさせる空間となっており、夜間には内部の照明の光でシンボリックに駅舎が浮かび上がる設計だ。

西山天王山駅には普通電車と準急電車が1日に上下120本(平日)ずつ停車し、1日当たり乗降客約7900人を見込む。高速バスやマイカーとの乗り継ぎがしやすい鉄道駅―高速道路と鉄道駅を組み合わせた公共交通への転換を示す「新しい形の交通結節点」が誕生した。



1 2013年12月21日に開業した「西山天王山駅」。改札口付近にバス乗り場、駐車場、駐輪場を配置。高速バスストップとはエレベーターで接続している。2 セレモニーでくす玉を割り、開業を祝う関係者ら。この日、駅前の交差点から国道171号までを結ぶ「府道大山崎大枝線」も同時に開通した。3 高速バスストップ(大山崎JCT方面)に直結するエレベーター。4 バスストップに停車する高速バス。5 東口駅前広場には路線バスが発着する。広場に隣接してパーク・アンド・ライド駐車場、駐輪場が整備されている。



高松琴平電気鉄道 琴平線に新駅「綾川駅」が開業

高松琴平電気鉄道（ことでん）は2013年12月15日、琴平線の陶一滝宮駅間、綾川町萱原に新駅「綾川駅」を開業した。陶駅から西へ約1.5km、滝宮駅から東へ約900mに位置する綾川駅周辺には、大型商業施設をはじめ、役場や図書館などの公共施設、福祉医療施設が集積している。綾川町はこれらの要素を活かし、「駅を中心としたまちづくり」を進めていく方針だ。

●新駅中心にまちづくり構想を策定

県や沿線自治体、ことでんなどで組織される「ことでん活性化協議会」は、ことでんのサービス向上だけでなく、他の公共交通やまちづくりとの連携を図っていくための具体的な取り組みを検討し、2011年3月、「ことでん沿線地域公共交通総合連携計画」をまとめた。

この計画において重要施策として位置付けられたのが「陶一滝宮間への新駅整備計画」で、綾川町はこれを受け、2012年3月に「綾川町新駅設置に伴う新まちづくり構想」を策定している。

綾川町は、香川県のほぼ中央に位置する総面積109.67平方km、人口約2万5000人の町。綾川駅が整備された町の北西地区は、国道32号線沿いに大型商業施設や公共施設などが集積、人口減少や少子高齢化が進む町の中でも宅地開発の進展で人口

が増加傾向を見せるエリアとなっている。新まちづくり構想では、こうした利便性の高い地区の特性を活かしながら、新駅における交通結節機能を高め、駅を中心とした持続可能なまちづくりを目指していく方針だ。

綾川駅の駅本体はことでん活性化協議会、駅前広場や進入道路などは綾川町が整備した。駅のホームは全長85mで、駅前広場にはバスやタクシー、一般車両の乗降スペースを整備。駅近くには、パーク・アンド・ライド駐車場も確保している。

また、ことでんは綾川駅の開業に合わせてダイヤ改正を実施。始発・終電を拡充するとともに、平日は通勤・通学時間帯に15分間隔で運行し、休日は綾川駅周辺の大型商業施設への買い物客に合わせた午前・午後の時間帯を15分間隔で運行するなど、運行本数を増やしている。

一方、綾川町は綾川駅とJR坂出駅を結ぶ路線バスの1年間の実験運行を開始し、JR坂出駅から綾川駅を経由して高松空港を結ぶリムジンバスの試験運行もスタートさせた。

香川県の中西部地域における交通結節点としての役割が期待される綾川駅は、地域鉄道の利便性向上施策におけるリーディング・ケースとして全国からも注目を集めている。



1 2013年12月15日8時42分、滝宮駅を発車する「綾川駅開業記念臨時列車」。式典に出席する関係者を乗せて新駅に向かった。2 ことでん「綾川駅」は地域の交通結節点としての役割が期待されている。3 ことでんの新駅整備は、琴平線空港通り駅（高松市寺井町）以来、約7年半ぶりとなる。ゆるキャラたちもお祝いに駆け付け、関係者らでテープカットを行った。